

みんなで生き方を考えよう！

文責：道徳主任

道徳教育だより 11月号

上赤 義人

本校の道徳教育の柱の1つに「道徳的環境づくり」がある。各教室において、担任を中心に学級掲示物の工夫をおこなっている。例えば、相田みつを氏の詩を月替わりに掲示したり、新聞の記事を題材にして「考えてみよう」と題して掲示したりしている。日々の学校生活の中で、ふと立ち止まりそれらを見つめている生徒の姿も見られる。そこで、道徳的環境づくりを学級だけにとどめることなく、学校全体に広げていこうとする取組を始めた。それぞれの先生方に、生徒たちに送る心のプレゼントとして「生徒たちへに気付いて、考えてほしい道徳資料を選出してもらい、それを校舎の廊下や階段のところに掲示しようとするものだ。(左にその一部を示しています) 掲示物を見た生徒たちの心の温度が一度でも上がってと思う。生徒一人一人の心の温度が上がれば、きっと学校全体の心の温度もあがるはずである。

是非、来校された時に、それらの掲示物に足を止めていただければ幸いです。

「弁当からのあなたの魅力」
「この地球に生まれて」
「セトモノ」「自分の花」「子ども」
「くじけないで」「道程」
「伝えていきたい和の心」
「いちばんたいせつなこと」
など



地域清掃活動と道徳教育

今学期、学年ごとに地域清掃活動を左のように計画しています。「掃除は、自分の心をみがく」と言われるように、清掃活動から多くのことを私たちは学ぶことができるはず。そして、「道にゴミを捨てるのだから」「このきれいな公園は、誰が清掃しているのだろうか」などと考えながら、活動がすすめられていくはず。そして、「自分はゴミを捨てたりはしていないか」「落ちていっているゴミをどうしているのか」などと自分自身のことを振り返る道徳の授業を展開していきます。各ご家庭でも是非、掃除の大切さについて話をしていただければ幸いです。掃除を通して、学校から家庭へ、家庭から地域へ、道徳教育が広まっていくようにしていきたいものです。

また、多くの保護者の方の清掃活動への参加をおねがいいたします。

- 3学年 11月16日(水) 15:00～15:40 本校前の道路周辺
- 1学年 12月9日(金) 時間・場所ともに未定
- 2学年 12月21日(水) 時間・場所ともに未定

田原中生徒の道徳意識調査 (その2)

◎「あなたが信号機のない横断歩道を渡ろうとして、車が通り過ぎるのを待っていたら、車があなたに気づいて止まってくれました。あなたはこの時に礼などをしますか。」

絶対礼をする82% たぶん礼をする15%
たぶん礼をしない4% 絶対礼をしない2%

◎「車椅子に乗った人が横断歩道を渡ろうとしましたが、道に段差があって車輪がなかなか動きません。もう少しで段差を越えられそうです。あなたはこの時、手伝いますか。」

絶対手伝う29% たぶん手伝う47%
たぶん手伝わない22% 絶対手伝わない2%

他の人との関わりについての道徳的意識から、多くの生徒が礼儀や思いやりの大切さについて感じていることが伺えます。「思い」はあるけれど、その「思い」を実践できる子どもたちを育てていくことが今後大切になっています。そのためにも、

今後ともご理解・ご協力をよろしく願います。

